







## 三建めぐり

熱海市役所市民生活部  
協働環境課環境センター  
主事

いまい  
今井めぐみさん

## ～明るい雰囲気づくり心掛ける～

工業高校を卒業後、平成25年4月に熱海市役所に電気技術職として入庁。「地域に密着した仕事をしたい」という思いに加え、「温泉熱を利用した低温度差発電設備の常設を目指すなどしている熱海市の環境に対する取り組みに関心を持った」ことが志したきっかけと言った。

協働環境課環境センターに配属となり、現在は廃棄物焼却施設・廃棄物再生利用施設である「エコ・プラント姫の沢」の維持修繕工事の監理業務などに携わる。「日々、勉強の連続で、足りない知識や技術を施工業者の方たちから吸収させてもらっている。らんらかで話しやすい方が多く、現場ならではの知識が得られます。

れて勉強になる」と話す一方、業務全般において「周囲の人とコミュニケーションを積極的に取り、明るい雰囲気を自らがつくりだしていくよう意識している」。

技術者としては、熱海市役所の土木や建築などの技術職で組織する「技友会」が開催する年に1度の集まりを楽しみにする。「意識の高い先輩方の話を聞くと刺激になるし、女性の技術者もいて励みになる」。そして、「女性技術者の後輩ができる」と期待するとともに、研鑽を重ねることで将来的には、「電気施工監理技士や第3種電気主任技術者の資格を取りたい」という目標も持つ。

伊東市出身で、入庁と同時に熱海市内に住まいを移す。現在は熱海市の女性消防団員の一員であり、地元に根付く。「海や山に囲まれ、都心からのアクセスも良好な熱海市は、観光だけでなく居住するにも良い所。お酒の飲めるお店が市の中心部に多いところも気に入っている」とこり。

平成6年8月生まれ。母、妹との3人家族。



御殿場高原時之栖で友人と(左奥が本人)



守屋浩の『有難や節』

影響力のある「有難や節」は、夏には千葉県の八幡の浜で過ごしていた旧制一高の水泳部員がこの歌を聞きとめ、それを東京に戻つてから歌つたところ、多くの学生や若者の共鳴を受けた。『デカルト』を蛮声を張り上げて歌つていたところ、たまたま階下に宿泊していった旧制一高の水泳部員がこの歌を聞いて愛唱されるようにな



フランスの女性は合理主義

## フランス事情⑭

## デカルト合理主義とは無縁の「デカンショ」

三建会長 小野徹



## 日本遺産



文化庁

2015年(平成27年)4月、文化庁により「日本遺産」の最初の18件の一つとして「丹波篠山 デカルトの文化財(文化遺産)」が選ばれた。

定は、いずれも登録・指定された文化財(文化遺産)の価値付けを行い、保護を担保することを目的とする。だが、「日本遺産」は既存の文化財の価値付けや、保全のための新たな規制を図ることを目的とした

ものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている。

その「認定されたストーリー」によれば、「かつて城下町として栄えた丹波篠山の地は、江戸時代の民謡によつて、地域のその時代の風土や人情、名所、名産品が歌い継がれていた。地元の人々はこそつてこれを愛唱し、民謡の世界そ

れを愛唱し、民謡の世界そ

うして暮らすアヨ

ヨーオイ ヨーオイ

アヨイヨイ

アヨイヨイ